

草加市立病院経営改善委員会の今後にあたりまして

草加市立病院経営改善委員会(以下、改善委員会と略称します)は、草加市立病院が病院を取り巻く環境の変化に迅速に対応しながら経営改善を図り、地域の中核病院として持続可能な病院経営を実現することを目的として、令和元年3月28日に公表した「腹腔鏡下子宮がん手術及び診療報酬請求に係る検証委員会 報告書」において設置の提言があった内部統制者を議長として加え、設置されたものです。

別紙最終報告書のとおり、草加市立病院の経営課題について、草加八潮医師会、経済学を専門とする外部有識者あるいは会計・税務専門家をはじめ多くの関係者で構成され、3回の改善委員会と5回のワーキンググループを開催しています。とりわけ財務についてはワーキンググループで議論を進め、改善委員会は必要と思われる諸解決策を提案する形で、病院側に様々な提言をいたしました。

しかしながら、活動は新型コロナウイルス感染症による未曾有の事態により容易とは言えず、開催の延期や中止など、活動が制限されることもしばしばありました。

病院側としては通算4回目となる第4回の改善委員会の開催に備えて、ワーキンググループの再構成を検討し、経営課題の抽出に向けての準備を進めておりました。

現時点においても新型コロナウイルス感染症はその収束が不透明であり、草加市立病院においては、埼玉県からの要請に基づくコロナ専用病床の確保による他病棟の閉鎖や看護職員の配置の変更など、特殊事情・要因が今後も続くことが予想される状況から、当初予定していた経常的な平時での経営改善策の検討がきわめて難しい状況となっています。

こうした状況を踏まえ、病院事業管理者と協議のうえ、今後は草加市立病院が独自に内部的な仕組みを構築し、経営努力する中で経営改善に邁進していただくこととし、改善委員会を解消いたしました。改善委員会の提言については引き続き、さらなる経営改善に役立てていただけるものと期待しております。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症の大変な時期に、改善委員会にご参画いただきました委員のみなさま、ワーキンググループへご参画いただきました方に心より感謝と御礼を申し上げます。

令和4年3月31日
草加市立病院経営改善委員会議長
井出 健治郎